

アースアキュライザーの導入(1)(HP 収載) —仕様と評価計画—

1. 始めに

インフラノイズ社から、アースアキュライザーが発売されたとの情報を入手し、すでにデジタルアキュライザーDACU-500、USBアキュライザーUACU-700、アナログアキュライザーAACU-1000、バランスアナログアキュライザーBACU-2000、ボリュームアキュライザーVRA-7、ターンテーブルアキュライザーTACU-1、スピーカーアキュライザーSPA-7、LANアキュライザーLACU-1など、一連のアキュライザーシリーズを使用していて、その効果には信頼を置いており、早速導入を決めました。

2. アースアキュライザーの情報収集

インフラノイズのホームページによれば、当初は仮想アースの音質を向上させるためのケーブルとして考えていたところ、音質への効果が顕著であったことから、仮想アースの補助的なアクセサリの枠を完全に越えて独立したアースケーブルとしての製品としか思えなくなり、当初のアースリベラメンテの仮称からアースアキュライザーと言う製品名になったと記載されています。



公開された資料の概要は、[Web 情報紹介【2024No.49】](#)にも記載されています。それによれば、次のようなことです。

「種々の仮想アースの製品の販売および自作品の提案がなされていますが、それぞれ素材や構造によって固有音が発生します。仮想アース本体をアース線でオーディオ機器を接続することで電位差が発生しますが、このときアース線を通る電流を制御す

ることで仮想アースの固有音を改善出来ます。この機能を備えたアース線がアースアキュライザーEA-1です。」

また、摘要対象は仮想アースの他、種々の対象が提案されており、使用上の注意も記載されています。

3. アースアキュライザーの試聴計画

まずは、メーカー説明に対応して、仮想アースの固有音改善という主目的の仮想アースとの接続に使用することが適当と考えられます。

アナログ再生系では、仮想アースとフォノイコライザーの接続や、仮想アースとフォノケーブルのアース端子が候補として挙げられます。

デジタル再生系では、DACやデジタルプレイヤーの仮想アースとデジタル機器のアース端子の接続が候補として挙げられます。PCやLAN機器では、専用のアースケーブルと仮想アースの間の中継接続も考えられます。

以上